



辻学長(左)から「地域創生推進士」の認定証を受け取る学生

地域創生推進士に28人 県立大、初の認定証交付

県立大は4日、地域活動団体などと協働で2016年度から進めている「岡山創生学」の必要単位を取得した3年生28人を「地域創生推進士」として初めて認定した。

地域創生推進士は、原則3年間のカリキュラムで10単位取得し、シンポジウムなど公開イベントで発表した学生に授与。学生たちは、岡山についての知識を得る講義やボランティア体験、企業へのインターンシップなどの演習を経て、地域課題を発見し、解決に導く能力を養ってきた。

この日、同大で授与式があり、辻英明学長が一人一人に認定証を手渡した。代表して保健福祉学部3年板谷智恵美さん(21)が「岡山創生学で培った課題解決力を生かし、社会で活躍したい」と決意を述べた。

地域創生推進士の認定は、国の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」の採択を受けて県内の大学、自治体、経済団体・企業が設立した連携組織「おかやまCOC+推進協議会」(代表・県立大)の取り組みの一環。(古川和宏)